

# 殿山第二小だより

令和 3年12月7日 第25号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

**校内算数科研究授業 5年2組**  
**単元名：四角形と三角形の面積**  
**めあて：台形の性質に着目し、面積の求め方を考え、説明することができる。**

教師の本分である授業力向上のために、学期に1回程度、全教職員が授業を参観し、行われる授業の良さや改善点を自分事として考えるということを積み重ねてきています。

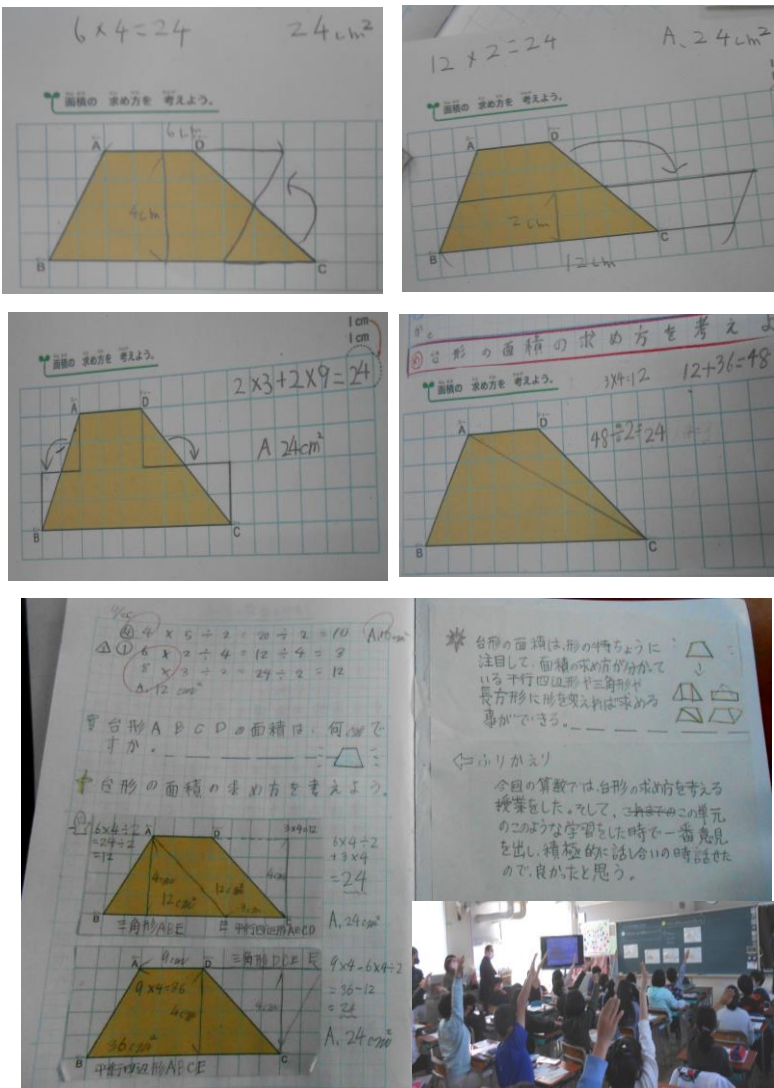
11月25日(木)5時間目、5年2組で算数科の授業が上記のめあてを掲げ行われました。参観する側は、2点の視点(①児童が主体的に活動できていたか、また、教師の働きかけがあったか。②児童の表現力が高まってきているか。)を持って、児童の学習活動、教師の発問等を注意深く観察します。

子どもたちは、まず、自分で面積の求め方を考えます。一案考えたら、また一案、柔軟に考えを巡らせていきます。そして、隣の席の友だちに自分の考え方を説明し、次は、班の友だちに説明していきま。説明を繰り返すこと、友だちの考え方を聞くことをとおして、より、考え方が自分自身の中で明確になり「できた。」「わかった。」と学習に取り組んだ達成感を味わうことになっていきます。そのことが“自信”となり、学習意欲の向上につながっていくのだと思います。

集団の中で“学ぶ”ということは、一人ひとりの考え方、表現方法があり、それを認め互いに高め合う良さがあるということを今回の授業を参観して強く感じる事ができました。

授業後は、図書室で研究協議会を行いました。教師一人ひとりも自分の考えを持って、グループに分かれて話し合い、グループごとに発表し合います。子どもたちに主体性を求めている私たち教師も主体的な姿勢・態度で襟を正さなければなりません。

最後に、梅花女子大学 子ども教育学科 教授 藤田佳久先生から、「子どもが自ら考え、表現できる授業をめざして」というテーマでご講演いただきました。藤田先生からご助言・ご指導いただいたことを今後の授業に活かしていきたいと考えています。



## お 礼

寒さ厳しい時候となりましたが、保護者の皆様には、個人懇談会にご来校いただきましてありがとうございました。また、学校自己診断アンケートにご協力いただきましたこと重ねてお礼申し上げます。結果、考察につきましては、後日、お知らせいたします。

今後とも本校教育にご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

